

2月 小島小だより

令和 5. 2. 14

揖斐川町立小島小学校

元気に笑顔で今年度の終わりを迎えることができますように

校長 高木 俊紀

立春が過ぎ、春の訪れを予感させる日々が続いています。新型コロナウイルス感染症は全国的にも落ち着きつつあるように感じられます。報道等によると、近い将来には感染防止や感染症への対応について、いよいよ新しい局面を迎えることとなりそうです。しかし、この冬は、過去2年間にはほとんどなかったインフルエンザへの感染が増えているようです。新型コロナウイルス感染症に対する対応の緩和や人々の考え方の変化がその一因であるようにも感じます。多くの児童が同じ空間で長時間生活をともにするという学校の特殊性を踏まえ、教育委員会等とも協議をしながら慎重に対応していこうと考えています。



先日の授業参観には、多くの皆さんに来校いただきありがとうございました。久しぶりの授業公開で、子どもたちの姿を直接ご覧いただくことができました。今の学年でできるようになったことや学習したこと、将来の夢などについて発表しました。久しぶりのことで、張り切って取り組む児童がいる一方で、恥ずかしさを隠せない児童もいたように感じました。しかし、自分の発表の番が来ると、見ている児童や参観の家族の皆さんに向けて精一杯伝えようと努力できていたと思います。確かに、昨年4月と比べると、体格的にはもちろん、いろいろなことを学び、身に付け、話し方も上手になり、大きく成長をすることができたこと、日々の姿の中でも感じるすることができます。多くの皆さんに来校いただいたため、教室の中にお入りいただくことができず、ご不便をおかけいたしましたこと、お詫び申し上げます。

3月1日は開校記念日です。ご承知のように、今年度小島小学校は、創立150周年を迎えました。3月1日には全校朝会を行い、150周年にまつわる話をしたいと考えています。また、正門横の二宮金次郎像（1929年建立）脇に、金次郎についての説明を記した銘板をご寄付いただく話が進んでいます。併せて、隣接する日本地図の池の整備を、地域の方にもお手伝いいただきながら進めています。ご家族の皆さんや地域の方にも、150年の歴史を感じながら、二宮金次郎像と銘板を眺め、池の畔を歩いていただけるようになるとよいと考えています。

ふと気が付くと、2月も半ばを過ぎ、3学期は残すところわずかとなってきました。児童は、卒業や修了に向けて、1年を振り返りつつも中学校生活や新しい学年の生活を見据えて着々と歩みを進めています。6年生への感謝を表し、小島小の伝統やこれまで担ってもらってきた種々の役割を引き継ぐ「6年生を送る会」の準備を、着々と進めているところです。また、今年度の卒業式も、2名までのご家族に出席いただくこととさせていただきます。

全校児童とご家族の皆様、職員が、元気に笑顔で年度末そして新年度を迎えられることが私の一番の願いです。

命を守る訓練～不審者対応～



揖斐警察署の方にも協力いただき、不審者対応の訓練を行いました。「自分の命は自分で守る」ことができるようどの子も真剣に取り組むことができました。



2月2日（木）大縄大会



2月9日（木）授業参観



参観ありがとうございました。



スマート連絡帳について

- すでに多くの方に登録をさせていただいています。ありがとうございます。まだ登録をされていない方は、2月17日（金）までに登録をいただきますようお願いいたします。（児童1人につき4名まで登録可能です。）
- 2月20日（月）にテストメールを配信します。この学校だより2月号もPDF形式で配信し、閲覧できるか確かめる予定です。